

様式第6号(第5条関係)

令和 7 年 11月 12日

酒田市議会議長

佐 藤 猛 殿

会 派 名 市 民 の 会

代表者名 後 藤 泉

令和 7 年度政務活動費報告書の提出について

酒田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第3項に基づき、別紙のとおり
令和 7 年度政務活動費報告書を提出します。



様式第7号(第5条関係)

令和7年度 政務活動費収支報告書

会派名 市 民 の 会

1 政務活動の成果

5月に(財)日本自治創造学会主催の研修大会に参加することができた。地方自治法の改正によって地方議会の在り方が変わらなければならない中で、地方自治体と議会はどうあるべきか、課題を認識し解決すべき方向性を考える時間となり、貴重な示唆をいただいた。

地方には見逃してしまうことに対して、研究者の立場や先進的な見解や具体的な事例等を知ることができた。今後の議員としての活動の参考にすることができる貴重な研修の機会だった。

2 収 入

政務活動費 400,000 円

3 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	135,396	交通費、資料代、宿泊費等
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	24,585	用品購入費等
資 料 購 入 費	4,730	購読料
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	164,711	

4 残 額

235,289 円

(注)備考欄には主たる支出の内訳を記載する。

様式第8号(第5条関係)

政務活動費支出内訳書

支出科目 1 調査研究費 ② 研修費 3 広報費
4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費
7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費
10 事務所費

NO	年月日	内 容	債 権 者	金 額(円)	備 考
1	R7.5.8	研修旅費(5/15~16) 日本自治創造学会第17回研究大会 後藤泉議員・武田恵子議員参加	酒田市旅費規定 による	105,396	領収書・支払報告書
		5/15~16 東京都千代田区神田駿河台			領収書・支払報告書
2	R7.5.15	日本自治創造学会第17回研究大会参加費	日本自治創造学 会	30,000	領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
合 計				135,396	

市民の会 行政視察行程表

令和7年5月15日(木)～5月16日(金)

月 日	発 駅		着 駅		連 絡	視察地及び内容	宿 泊
5/15 (木)	酒田駅	6:59	新潟駅	9:06	JR特急いなほ4号	◆第7回日本自治創造学会研究大会 ○第1日目 講演「地方自治における政治の復権」 名古屋大学名誉教授 後 房雄 氏 講演「日本の統治構造～官僚内閣制は議院内閣制になったのか～」 政策研究大学院大学教授 飯尾 潤 氏 講演「～JICAにおける地方創生20・地域活性化事業への挑戦～ 地域との連携による様々な創生事業の実践と活用方法について」 独立行政法人国際協力機構理事長特別補佐 井倉 義伸 氏 講演「地方自治のあり方を問う～地方自治の危機～」 東京大学大学院法学政治学研究科教授 金井 利之 氏 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 ○第2日目 講演「AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略 ～都知事選の経験から学ぶ～」 AIエンジニア・起業家・S=作家 安野 賢博 氏 講演「ネット選挙に対応する～公職選挙法の改正とその行方～」 日本大学法学部政治経済学科専任講師 安野 修右 氏 講演「領域を超えない民主主義～地方政治における競争と民意～」 神戸大学大学院法学研究科教授 砂原 庸介 氏 講演「高齢社会における大災害への対応と課題」 石川県副知事 浅野 大介 氏 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1	<宿泊> 日本青年館ホテル 〒160-0013 東京都新宿区露ヶ丘町4-1 TEL: 03-3401-0101
	新潟駅	9:13	東京駅	10:44	JR新幹線とき312号		
	東京駅	10:56	御茶ノ水駅	11:00	JR中央線快速 高尾行		
	昼 食						
	研修 1日目 (13:00～17:45)						
	御茶ノ水駅	18:31	赤坂見附駅	18:46	東京メトロ丸ノ内線 荻窪行		
	赤坂見附駅	18:48	外苑前駅	18:51	東京メトロ銀座線 渋谷行		
夕 食 ・ 宿 泊							
5/16 (金)	外苑前駅	9:10	赤坂見附駅	9:14	東京メトロ銀座線 上野行	○第2日目 講演「AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略 ～都知事選の経験から学ぶ～」 AIエンジニア・起業家・S=作家 安野 賢博 氏 講演「ネット選挙に対応する～公職選挙法の改正とその行方～」 日本大学法学部政治経済学科専任講師 安野 修右 氏 講演「領域を超えない民主主義～地方政治における競争と民意～」 神戸大学大学院法学研究科教授 砂原 庸介 氏 講演「高齢社会における大災害への対応と課題」 石川県副知事 浅野 大介 氏 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1	
	赤坂見附駅	9:16	御茶ノ水駅	9:30	東京メトロ丸ノ内線 池袋行		
	研究大会 第2日目 (10:00～11:40)						
	昼 食						
	研究大会 第2日目 (13:00～15:00)						
	御茶ノ水駅	15:30	東京駅	15:35	JR中央線 東京行		
	東京駅	17:32	新潟駅	19:31	JR新幹線とき335号		
新潟駅	19:38	酒田駅	21:50	JR特急いなほ1号			

《参加者》 ◎市民の会 後藤泉会長、武田恵子幹事長

旅 程 明 細 書

市民の会

旅行日	発地名	鉄道km	特急km	航空運賃	その他	日 当	金 額
	着地名	鉄道運賃	特急料金	船 賃	金 額	宿泊料	
5月15日	麓字楯ノ腰				自家用車	3,000	18,725
	酒田市役所				(往復)925	14,800	
	酒田市役所				徒歩		0
	酒田						
	酒田	502.1km	168.2km				10,650
	新潟	8,360	2,290				
	新潟		333.9km				5,040
	東京		5,040				
5月16日	東京	502.1km	333.9km			3,000	16,400
	新潟	8,360	5,040				
	新潟		168.2km				2,290
	酒田		2,290				
	酒田				徒歩		0
	酒田市役所						
	酒田市役所						0
	麓字楯ノ腰						
					合 計		53,105 円

(備 考) ※市民の会 後藤泉議員

5/15～16 東京都 第17回日本自治創造学会研究大会

酒田市麓字楯ノ腰28から酒田市役所 12.8km

12.8km × 2 = 25km 25km × 37円 / km = 925円

旅 程 明 細 書

市民の会

旅行日	発地名	鉄道km	特急km	航空運賃	その他	日 当	金 額
	着地名	鉄道運賃	特急料金	船 賃	金 額	宿泊料	
5月15日	亀ヶ崎4丁目				自家用車	3,000	17,911
	酒田市役所				(往復)111	14,800	
	酒田市役所				徒歩		0
	酒田						
	酒田	502.1km	168.2km				10,650
	新潟	8,360	2,290				
	新潟		333.9km				5,040
	東京		5,040				
5月16日	東京	502.1km	333.9km			3,000	16,400
	新潟	8,360	5,040				
	新潟		168.2km				2,290
	酒田		2,290				
	酒田				徒歩		0
	酒田市役所						
	酒田市役所						0
	麓字楯ノ腰						
合 計							52,291 円

(備 考) ※市民の会 武田恵子議員

5/15～16 東京都 第17回日本自治創造学会研究大会

酒田市亀ヶ崎4丁目4-1から酒田市役所 1.9km

1.9km × 2 = 3.8km 3.8km × 37円/km = 141.6円

領収証

武田 恵子 様

No. 232

金額

¥15,000

但 第17回 日本自治創造学会研究大会 参加費

2025年 5月 15日 上記正に領収いたしました

内 訳 再発行

税抜金額

消費税額等(%)

一般財団法人

日本自治創造学会

理事長 徳坂 邦夫

東京都千代田区神田佐久間町2-24-301



コクヨ ウケ-695

領収証

後藤 泉 様

No. 233

金額

¥15,000

但 第17回 日本自治創造学会研究大会 参加費

2025年 5月 15日 上記正に領収いたしました

内 訳 再発行

税抜金額

消費税額等(%)

一般財団法人

日本自治創造学会

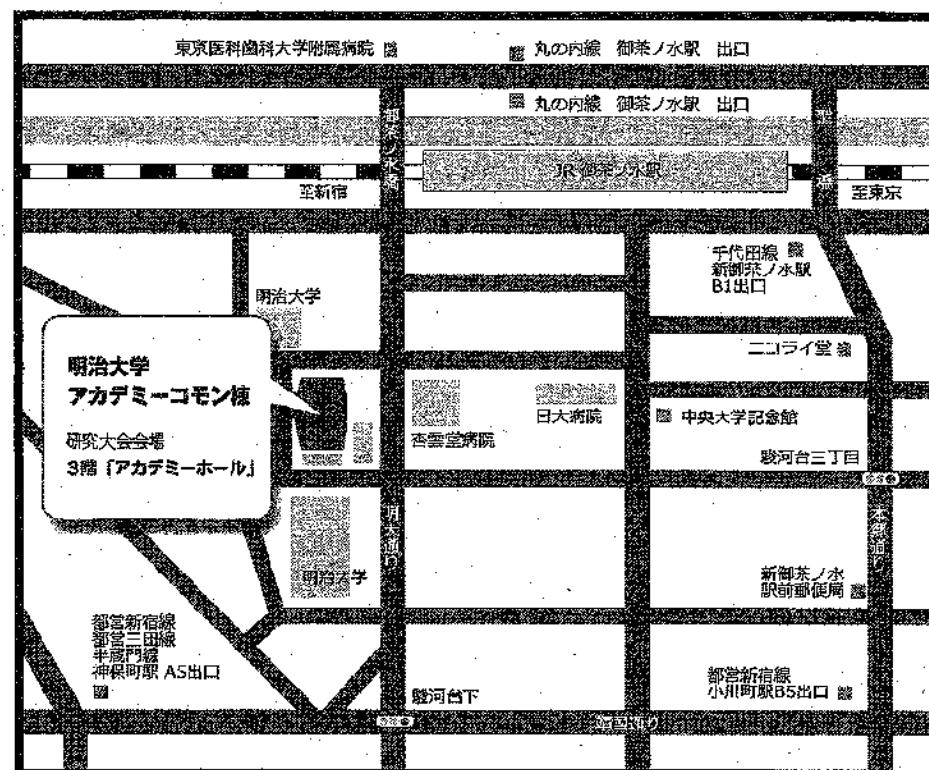
理事長 徳坂 邦夫

東京都千代田区神田佐久間町2-24-301



コクヨ ウケ-695

会場のご案内



- JR中央線 「御茶ノ水」徒歩3分（御茶ノ水橋口を出る）
- 地下鉄丸ノ内線 「御茶ノ水」徒歩5分
- 地下鉄三田/半蔵門/新宿線 「神保町」徒歩8分
- 地下鉄千代田線 「新御茶ノ水」徒歩5分

財団法人 日本自治創造学会
The Japanese Society for Local Democracy

理事長 穂坂 邦夫

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-24-301

(事務局)NPO法人地方自立政策研究所内

TEL 03-5846-9227

FAX 03-5846-9228

<https://jsozo.org>

E-mail: info@jsozo.org

第17回 2025年度 日本自治創造学会 研究大会

変容する社会・地方選挙 ～地方自治のあり方を問う～

日時

2025年 5月15日(木) 13:00～17:45

5月16日(金) 10:00～15:05

場所 東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

参加費 会 員 13,000円 (年会費2,000円、2日間大会参加費・資料代含む)

※大学院生会員参加費 2,000円 (年会費、2日間大会参加費・資料代含む)

非会員 15,000円 (2日間大会参加費・資料代含む)

※大学院生非会員参加費 3,000円 (2日間大会参加費・資料代含む)

懇親会 ～地域間交流会～ (自由参加)2,500円

主催 財団法人 日本自治創造学会

第17回 日本自治創造学会 研究大会 プログラム

■ 第1日目 5月15日(木)

12:00	開場・受付
13:00～13:10	大会挨拶 穂坂 邦夫 ((財)日本自治創造学会理事長)
13:10～14:00	講演 地方自治における政治の復権 後 房雄 (名古屋大学名誉教授)
14:00～14:15	質疑
14:15～15:05	講演 日本の統治構造～官僚内閣制は議院内閣制になったのか～ 飯尾 潤 (政策研究大学院大学教授)
15:05～15:20	質疑
15:20～15:35	休憩
15:35～16:25	講演 ～JICAにおける地方創生2.0・地域活性化事業への挑戦～ 地域との連携による様々な創生事業の実践と活用方法について 井倉 義伸 (独立行政法人国際協力機構理事長特別補佐)
16:25～16:40	質疑
16:40～17:30	講演 地方自治のあり方を問う～地方自治の危機～ 金井 利之 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)
17:30～17:45	質疑
18:00～19:30	懇親会～地域間交流～“我が自治体の新たな挑戦をPRする”

■ 第2日目 5月16日(金)

10:00～10:45	講演 AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略 ～都知事選の経験から学ぶ～ 安野 貴博 (AIエンジニア・起業家・SF作家)
10:45～11:00	質疑
11:00～11:45	講演 ネット選挙に対応する～公職選挙法の改正とその行方～ 安野 修右 (日本大学法学部政治経済学科専任講師)
11:45～12:00	質疑
12:00～13:00	昼食 12:40～(財)日本自治創造学会総会
13:00～13:45	講演 領域を超えない民主主義～地方政治における競争と民意～ 砂原 庸介 (神戸大学大学院法学研究科教授)
13:45～14:00	質疑
14:00～14:45	講演 高齢社会における大災害への対応と課題 浅野 大介 (石川県副知事)
14:45～15:00	質疑
15:00～15:05	閉会挨拶 牛山 久仁彦 ((財)日本自治創造学会理事・明治大学教授)

様式第10号（第5条関係）

政務活動費会派研修報告書

市民の会

- 1、 日 時 令和7年5月15日（木）13:00～18:10
5月16日（金）10:00～15:05
- 2、 研修名 第17回日本自治創造学会研究大会 （財）日本自治創造学会主催
- 3、 研修地 東京都千代田区明治大学アカデミーコモン棟 アカデミーホール
- 4、 研修の大項目
5月15日（木） ◆地方自治における政治の復権
◆日本の統治構造
◆JICAにおける地方創生2.0、地域活性化事業への挑戦
◆地方自治の在り方を問う
5月16日（金） ◇AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略
◇ネット選挙に対応する
◇領域を超えない民主主義
◇高齢社会における大災害への対応と課題
- 5、 研修参加者 後藤 泉、 武田 恵子

6、 研修概要及び所感

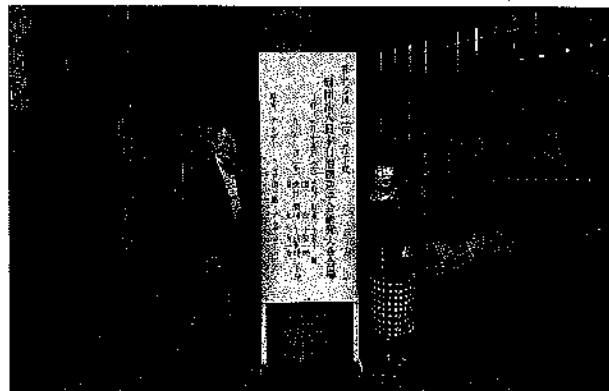
【日時】 令和7年5月15日（木）

第1 講

講演 地方自治における政治の復権 後 房雄 （名古屋大学名誉教授）

第一日目は午後からの受付後、穂坂 邦夫理事長のあいさつの後早速第1 講の講義が始まった。

主な内容は、よい制度とされている2元代表制の地方自治が、世界では日本特有であ



るということ。その仕組み自体が制度として不備なのではないかという疑問を投げかけ、地方自治体としても議院内閣制を導入することを提案するというものであった。目からうろこの講演であったが、議院内閣制を地方自治でも検討し、議員の多数派が、統治責任を負い、議会に予算の提案権があることで、議員の責任ややりがいにつながっていくということであった。

第2講

講演 日本の統治構造 ～官僚内閣制は議院内閣制になったのか～

飯尾 潤 （政策研究大学院大学教授）

55年体制以来の日本の統治構造の歴史と各年代の総理大臣の変遷をとらえながら官僚内閣制から本当の議院内閣制へなってきたのかを考える講演であった。様々な制度改革が行われてきたが、いまだ変わらぬ政治家と政治主導等の問題、官僚と政治家の役割分担の確立、今後重要となる地方議会改革、重要なのは質疑ではなく議員間討議であるということであった。

第3講

講演 JICA における地方創生 2.0、地域活性化事業への挑戦

～地域との連携による様々な創生事業の実践と活用方法について～

井倉 義伸（独立行政法人国際協力機構理事長特別補佐）

JICA で行っている仕事、活動、役割について紹介をいただいた。海外協力隊の派遣、インバウンド留学生の受け入れ事業、外国人材受け入れ・多文化共生等で、地方創生 2.0 に貢献していくとのこと。今後のキーワードとして「新結合」ということがあり、今まであまり JICA と関係なかったところとの連携や結びつきが重要になっていく。協力隊員の経験が企業や地方創生に貢献している事例もたくさんあり、今後外国人労働者が今の 1.1 倍にもなっていく日本社会での活躍が期待される。

第4講

「地方自治の在り方を問う～地方自治の危機～」

金井 利之 （東京大学大学院法学政治学研究科教授）

2024年の改正地方自治法について

2024年改正地方自治法～非平時の補充的指示権（重大事態での特例指示権）が与えられたことにより、1980年代より権力的関与への法令の具体的根拠として補充的指示ができることとなり、地方自治としての権限が悪く（弱く受動的）になったのではないかなと言える。改正地方自治法に関して金井教授は国の権限の強化に皮肉たっぷりの論法で、地方自治の危機を訴える抗議であった。

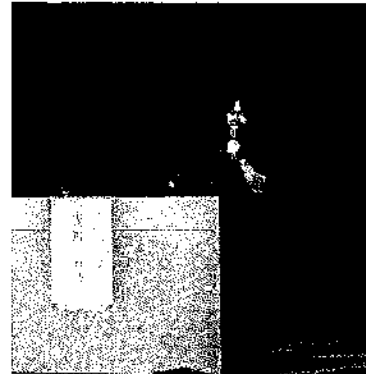
【日時】令和7年5月16日（金）

第5講

「AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略～都知事選の経験から学ぶ～」

安野 貴博 （AI エンジニア・起業家・SF 作家）

東京都知事選に立候補し全国的に一躍有名になった安野氏であったので非常に興味深く拝聴することができた。今までの政策を訴え自分の考えを伝えていくだけの単一方向のブロードキャストではなく、生成 AI 等のテクノロジーを使って単方向ではなく双方向の選挙をやったおかげで予想以上の得票に結び付いたとしている。



それがブロードリスニング双方向型コミュニケーションとして今後は選挙や政策提言へのパブリックコメントにも生かされていく。オープンソースソフトウェアも日々進化していてGithubはエンジニア業界では有名でコラボレーションできる仕組みが利用されている。

第6講

「ネット選挙に対応する～公職選挙法の改正とその行方～」

安野 修右 （日本大学法学部准教授）

2013年のインターネットの選挙運動の解禁により日本の選挙運動のやり方も大きく様変わりしてきた。文書を利用した選挙運動からインターネットを利用した選挙運動に関して広範な自由裁量というのが認められてきた。それはまた公職選挙法の枠外にインターネット選挙が位置付けられたともいえる。あまりにも緩めすぎた上に誹謗中傷等の行き過ぎた運動も見られるため、公職選挙法で対応する必要がある。誹謗中傷の取り締まり、収益化の停止、第三者運動の規定の見直し、選挙運動の抜本的な自由化等時代に即した対応が求められる。

第7講

「領域を超えない民主主義～地方政治における競争と民意～」

砂原 庸介 （神戸大学大学院法学研究科教授）

自治体間としての領域と都市圏としてのずれが生じたことに関して日本ではその解決策として多くは合併が行われてきた。しかし権限・責任の再配分は実施のコストが大きく海外ではあまり歓迎されない制度である。先進国では企業化という

手法と、地方政府間の連携という手法をとっていることが多い。今後の課題として挙げられるのは、地方自治体間の紐帯みたいなものをいかに作り出すか、地方議会の選挙制度改革を議論する必要がある、議院内閣制のような形が理にかなっているように思う。もう一つの紐帯としてビジネスで、公共交通・水道事業・廃棄物処理などといった公営企業で、企業化みたいな形のアプローチで連携を考えていく必要があるということだった。

第8講

「高齢社会における大災害への対応と課題」

浅野 大介 （石川県副知事）

浅野副知事の講話は、能登半島地震と能登豪雨についての表題の内容であるが、本人は能登半島地震は実際には体験しておらず、その後の7月に能知事より懇願され石川県の副知事として赴任されたという経歴の方であった。東大大学院法学政治学研究科終了後経産省に入庁の方だが、文科省や農水省とも関わり、様々な分野で活躍された行政経験を買われたとのこと。

講演の内容では詳細な能登半島地震のデータや実態を紹介いただき、その被害の大きさも改めて認識させられた。その中でも特に被災者支援に必要な「情報収集・共有」の取り組みについて、本来各市町村でやるべき被災者台帳等に関しても県が肩代わりしてデータベースを構築作成していったり、避難所情報統合システムの構築等、緊急時での国や県と市町村との役割分担や連携などについても大変考えさせられる講演であった。

最後に今回の第17回日本自治創造学会 研究大会は昨年に引き続き参加させてもらい最近の動向や地方自治について著名な講師の皆さんから有意義な講義を受けることができた。全国の大学や研究者、首長、県議会議員、自治体職員や自治体議員など今年も約350名ほどの参加があった。今回の研修の成果を本市の今後の議会活動や政策提言へと活かしていきたい。

以上市民の会の研修報告とする。

様式第8号(第5条関係)

政務活動費支出内訳書

支出科目 1 調査研究費 2 研修費 3 広報費
 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費
 ⑦ 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費
 10 事務所費

NO	年月日	内 容	債 権 者	金 額(円)	備 考
1	R7.5.9	会派コピー代4月分	酒田市長	1,759	領収書・支払報告書
2	R7.5.13	ボールペン、スティックのり、デープカッター、付箋、 ポスカマーカー、PPC用紙	まる五	9,629	領収書・支払報告書
3	R7.5.13	クリアホルダー	まる五	1,901	領収書・支払報告書
4	R7.6.5	会派コピー代5月分	酒田市長	1,968	領収書・支払報告書
5	R7.7.1	会派コピー代6月分	酒田市長	142	領収書・支払報告書
6	R7.8.4	会派コピー代7月分	酒田市長	252	領収書・支払報告書
7	R7.9.1	会派コピー代8月分	酒田市長	21	領収書・支払報告書
合 計					

様式第8号(第5条関係)

政務活動費支出内訳書

支出科目 1 調査研究費 2 研修費 3 広報費
4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費
⑦ 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費
10 事務所費

NO	年月日	内 容	債 権 者	金 額(円)	備 考
8	R7.9.29	リサイクルトナー	株式会社大谷事務機	8,580	領収書・支払報告書
9	R7.10.3	会派コピー代9月分	酒田市長	343	領収書・支払報告書
10					領収書・支払報告書
11					領収書・支払報告書
12					領収書・支払報告書
13					領収書・支払報告書
14					領収書・支払報告書
合 計				24,585	

998-8540
酒田市本町2-2-45

市民の会 様

下記の場所にてお支払ください。
荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)

062049 山形県 酒田市

納入通知書・領収書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥1,759 円
納期限	令和 7 年 5 月 15 日

摘要	会派等コピー代(4月分)
----	--------------

発行日 令和 7 年 5 月 1 日
管理番号 0006292-004

酒田市長 矢口 明子



(納入者用)

998-8540
酒田市本町2-2-45

市民の会 様

下記の場所にてお支払ください。
荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)

062049 山形県 酒田市

納入通知書・領収書

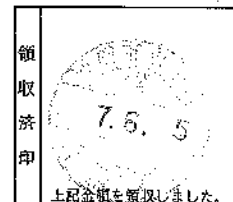
下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥1,958 円
納期限	令和 7 年 6 月 16 日

摘要	会派等コピー代(5月分)
----	--------------

発行日 令和 7 年 6 月 2 日
管理番号 0013303-003

酒田市長 矢口 明子



(納入者用)

998-8540
酒田市本町2-2-45

市民の会 様

下記の場所にてお支払ください。
荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)

062049 山形県 酒田市

納入通知書・領収書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥142 円
納期限	令和 7 年 7 月 15 日

摘要	会派等コピー代(6月分)
----	--------------

発行日 令和 7 年 7 月 1 日
管理番号 0021053-004

酒田市長 矢口 明子



(納入者用)

998-8540
酒田市本町2-2-45
市民の会様

下記の場所にてお支払ください。
荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)

062049 山形県 酒田市

納入通知書・領収書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

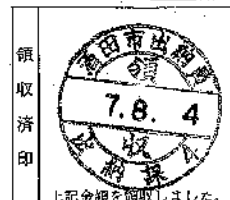
金額	¥252 円
納期限	令和 7 年 8 月 15 日

摘要	会派等コピー代(7月分)
----	--------------

発行日 令和 7 年 8 月 1 日

管理番号 0029276-002

酒田市長 矢口 明子



(納入者用)

998-8540
酒田市本町2-2-45
市民の会様

下記の場所にてお支払ください。
荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)

062049 山形県 酒田市

納入通知書・領収書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥21 円
納期限	令和 7 年 9 月 16 日

摘要	会派等コピー代(8月分)
----	--------------

発行日 令和 7 年 9 月 1 日

管理番号 0036170-003

酒田市長 矢口 明子



(納入者用)

998-8540
酒田市本町2-2-45
市民の会様

下記の場所にてお支払ください。
荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)

062049 山形県 酒田市

納入通知書・領収書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥343 円
納期限	令和 7 年 10 月 15 日

摘要	会派等コピー代(9月分)
----	--------------

発行日 令和 7 年 10 月 1 日

管理番号 0043770-003

酒田市長 矢口 明子



(納入者用)

領 収 証 No. _____

市展の会 様

7年5月13日

税込

合計金額

¥9,629

上記正に領収いたしました

文具・事務用品・カバン

⑤ みる五

長谷川 浩

酒田市中町2丁目5番

TEL (0234) 22-0095

FAX (0234) 23-3787

www3.ic-net.or.jp/~maru5/

登録番号 T3-8103-8122-0851

品 名	数 量	単 価	金 額
ボールペン	4	440	1,760
フタ付きのり	1		132
テープカッター	1		1,265
3.5mm			2,739
オースロ2-0-	1		2,640
PPC用IG	5	⑤ 560	2,800
20% OFF			1,705



合 計

9,629

(内 消費税額等 10%)

毎度ありがとうございます

領 収 証 No. _____

市展の会 様

7年5月13日

税込

合計金額

¥1,901

上記正に領収いたしました

文具・事務用品・カバン

⑤ みる五

長谷川 浩

酒田市中町2丁目5番

TEL (0234) 22-0095

FAX (0234) 23-3787

www3.ic-net.or.jp/~maru5/

登録番号 T3-8103-8122-0851

品 名	数 量	単 価	金 額
クリアホルダー	2	1,188	2,376
20% OFF			475



合 計

1,901

(内 消費税額等 173)

10%

毎度ありがとうございます

請求明細書

91031 酒田市議会 市民の会		様		OHTANI JIMUKI 株式会社 大谷事務機 山形県酒田市東町1-15-3 〒993-0875 TEL 0234-23-2233 FAX 0234-24-0651	
日付	R07/09/11	振替番号	23948	担当者	大瀬
商品名		数量	単価	金額	備考
リサイクルトナー ZREP-LBA3ETC13		1 個	7800	7,800	
備考		受領印		税別合計 7,800 税率10%	消費税 税込合計

領收証

酒田市議会 市民の会 様

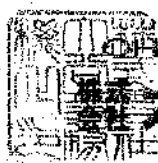
					¥	8	5	8	0
--	--	--	--	--	---	---	---	---	---

8580

但し

上記の金額正に領収いたしました。

2025 年 9 月 29 日

[illegible]

CHITANI JIMUKI

大谷事務機

山形県酒田市東町一丁目15番地の3

取級者印



様式第8号(第5条関係)

政務活動費支出内訳書

支出科目 1 調査研究費 2 研 修 費 3 広 報 費
 4 広 聴 費 5 要請・民情活動費 6 会 議 費
 7 資料作成費 ⑧ 資料購入費 9 人 件 費
 10 事務所費

NO	年月日	内 容	債 権 者	金 額(円)	備 考
1	R7.10.31	地方財務事典	株式会社ぎょうせい	4,730	領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
合 計				4,730	

請 求 書

登録番号：T1010001100425

酒田市議会事務局
市民の会

様 令和 7 年 10 月 14 日

東京都江東区新木場1丁目18番11号 (〒136-8575)

株式会社ぎょう

下記のとおりご請求いたします。

令和7年9月分

(0106-0009133)

代表取締役
社 長 西 本 功

ご請求額 ￥4,730.-
内消費税10% ￥430.-

お得意様No. 50-0646861
(請求No.) (510068765)

お支払は令和 7 年 12 月 31 日までをお願いします。

品 名	追 録 号 数	数 量	単 価	金 額	備 考
地方財務事典	20	1	4730	4730	

(振 込 先) みずほ銀行東京営業部 (001)
普通預金 4913720 か)キョウセイ
(要打電項目) 510068765 サカシキカイシムキョク シミンノカ

(1868)

振替払込請求書 兼受領証	
00140	8 10000
加入者 金額	株式会社ぎょうせい 4 7 3 0
振込先	みずほ銀行 銀行 東京営業部 支店
普通預金	4913720
か)キョウセイ	山形県酒田市
酒田市議会事務局市民の会	
要打電項目：510068765 様	
日 附 印	07-10-31 T501000111 2730 2072
現金扱	(85165) M94180003
(CYS等印捺)	

この受領証は、大切に保管してください